

市指定文化財<史跡>

とばやしじょうあと 止林城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市木庭 下木庭



止林城は別名を木庭城、又は木庭城山古城、城林城とも呼ばれ、下木庭集落との比高差は約70mである。城跡はかなり広い平坦地で、周辺の眺望は良い。この城跡を城床しろとこといい、現在は車を取り入れることもでき、晴れた日には金峰山の向こうに雲仙岳を眺めることができる。

城主の城越前守武顕は、15代武光の代に智謀優れた武将として数々の武勲を立て、武光から「皆朱の槍かいしゆやり」を許されていたという。現在でも下木庭には城、林の姓が多く、城床はいつも清掃されている。

城跡の周りは、地元で外堀、内堀と呼ばれる壕ぼりが急な崖に沿って蛇行し、その端は豎堀たてぼりとなっている。今は城跡の外周は植林されているので遠くから見ると普通の小山のように見えるが、ひと昔前までは城跡の頂上は水平に切り取られた運動場のようで、隈府からは城床の桜が豆盆栽のように見え、菊池の名所になっていた。